

こんにちは

# 豊前市議会



## 9月定例会(9/3～9/25)主な内容

目次  
CONTENTS

議案の概要	2～4P
平成30年9月定例会 議案審議結果	5P
一般質問	6～12P
議会報告会	13P
トピックス・編集後記	14P

No.102

平成30年11月

議会へのご意見をお寄せ下さい

発行/豊前市議会 豊前市大字吉木955 TEL82-1111 内線1311  
ホームページ/<http://www.city.buzen.lg.jp>

## 議案の概要

平成30年第3回(9月)定例会は、9月3日から9月25日までの23日間の会期で開催されました。

本定例会には、市長より議案19件、報告6件、計25件が提出されました。所管の常任委員会で慎重に審査した結果、原案どおり可決・認定されました。

また、議員より請願1件が提出され、原案どおり採択されました。

また、市長より人事案件1件が提出され、市長提案のとおり同意されました。

## 同意案件

市長からの提案に対し、全会一致で同意しました。

(敬称略)

### ■教育委員

豊前市大字恒富

上田 静香

### 請願第1号

## 国会における憲法論議の推進と 国民的議論の喚起を求める意見書

日本国憲法は、昭和22年5月3日の施行以来、国民主権、平和主義、基本的人権の尊重の三原則の下、わが国の発展に重要な役割を果たしてきた。このことは、われわれ国民の誇りとするところでもあり、この三原則こそ、現憲法の根幹をなすものであり、今後も堅持されなければならない。

一方、現憲法は、今日に至るまでの70年余一度の改正も行われておらず、この間、わが国をめぐる内外の諸情勢に大きな変化が生じている。こうしたことに鑑みれば、憲法についても直面する諸課題から国家と国民の安全・安心を確保し、環境、福祉の向上を図る内容であることが強く求められる。

このような状況の中、国会でも平成19年の国民投票法の成立に伴い、憲法審査会が設置され、憲法論議が始められている。憲法は国家の基本規定であり、その内容については国会はもちろんのこと、主権者である国民が幅広く議論し、その結果が反映されるべきである。

よって、国におかれては、日本国憲法について国会において活発かつ広範な議論を推進するとともに、国民的議論を喚起することを強く求める。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき、意見書を提出する。

## 文教厚生委員会申し入れ事項

◎平成30年度豊前市一般会計補正予算(第1号)について

1. し尿等前処理施設整備事業については、議会が以前から申し込んでいた地元6区、漁協との協議が整うこと、すなわち、協定書の締結をすること。また、吉富町・上毛町と共同運営に向け、鋭意努力し、一定の成果を上げるまで、予算執行を認めることはできない。結果がでたら、委員会に報告をお願いする。その場合は、臨時委員会を開いて審議をする。
2. 公民館耐震診断業務委託料については、地元協議が整い、市の施設の整備方針が決定するまで、予算執行の停止と、委員会で決定した。この案件も、結果がでたら、委員会に報告をお願いする。その場合は、臨時委員会を開いて審議をする。
3. 特に、電算システム改修等の経費があまりにもかさんでいるので、精査を。
4. 文化的景観保護推進事業については、しっかりとした計画を立てるよう。

◎質疑については、あいまいで納得できない答弁が、今回多々見受けられた。今後は、このようなことがないように、上司が十分に部下を指導し、各所属については、準備をおこたらないように。

◎答弁の中で、一部議会軽視ともとられる発言があった。二度とこのようなことがないように、肝に命じるように。

なお、答弁者は、自己の答弁については、責任を持つこと。

以上、申し入れをいたしました。

## 産業建設委員会申し入れ事項

1. 公営企業会計は、更なる健全経営に向けてしっかり取り組むこと。

◎議案第59号、議案第60号について

2. 農林業生産者の有害鳥獣の被害額減少に向け取り組むこと。
3. 事業内容を検証し、健全なる施設の運営を目指していただき、事業報告をすること。  
特に、半年内でしっかりとした事業計画をたてるよう。
4. 設置条例の第5条(施設の利用時間及び休日)、第9条(施設の利用料等)で定めている付帯事項を決めた場合は、報告をすること。
5. 流通・物販・ブランド化については、市が全面的に協力をすること。

以上5点を申し入れをいたしました。

住民の納得できる予算執行がなされたか？

平成29年度の

# 一般会計の執行状況(決算)を 2日間で慎重審査

9月定例会では、決算特別委員会が設置され一般会計の決算状況について審査を行いました。

委員会は、9月13～14日の2日間にわたり開催し、平成29年度の一般会計予算が適正かつ効果的に執行されたかどうかの審査を行いました。

委員会では執行部に対して多くの質問や指摘がなされましたが、主な指摘事項は次のとおりです。

**決算審査に関わる決算特別委員会が設置されました。**

メンバーは以下のとおりです。

委員長	鎌田 晃二
副委員長	為藤 直美
委員	内丸 伸一
委員	秋成 英人
委員	郡司掛 八千代
委員	黒江 哲文
委員	福井 昌文
委員	古川 哲也

## 決算審査における 主な指摘事項

### 平成29年度豊前市一般会計歳入歳出決算について

- 各種団体等への補助金、事業委託については、よく精査し事業効果を十分に検証するように。
- 時間外勤務が所属部署によって偏っている。働き方改革もあるので、十分に注意をして指導をするように。
- 電算システム改修等の経費が、あまりにもかさんでいるので精査をするように。
- 今回の決算特別委員会の答弁で、部長・課長のくい違いの答弁が見られた。決算特別委員会に望む姿勢に問題があったのではないか。今後は、このようなことがないように節に望む。

以上、申し入れをいたしました。

# 平成30年9月定例会 議案審議結果

〔○〕……………賛成                   〔●〕……………反対  
 「議長」………議長職のため表決に参加しない

議案番号	議案等の名称	審議結果	為藤直美	内丸伸一	秋成英人	郡司掛八千代	黒江哲文	平田精一	福井昌文	鎌田晃二	岡本清靖	古川哲也	尾澤満治	爪丸裕和	磯永優二	賛成	反対
議案第42号	豊前市営住宅管理条例の一部改正について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第43号	豊前市獣肉処理加工施設の設置及び管理に関する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第44号	福岡県市町村消防団員等公務災害補償組合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第45号	福岡県介護保険広域連合の処理する事務の変更及び福岡県介護保険広域連合規約の変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第46号	平成30年度豊前市一般会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第47号	平成30年度豊前市下水道事業会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第48号	平成29年度豊前市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第49号	平成29年度豊前市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第50号	平成29年度豊前市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第51号	平成29年度豊前市住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第52号	平成29年度豊前市営駐車場事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第53号	平成29年度豊前市バス事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第54号	平成29年度豊前市工業用地造成事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第55号	平成29年度豊前市水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第56号	平成29年度豊前市下水道事業特別会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第57号	平成29年度豊前市東部地区工業用水道事業会計決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第58号	平成29年度豊前広域環境施設組合歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第59号	指定管理者の指定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
議案第60号	平成30年度豊前市一般会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
請願第1号	国会における憲法論議の推進と国民的議論の喚起を求める意見書提出に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0
同意案第5号	豊前市教育委員会委員の任命について	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	12	0

# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『平成豊明会』の一般質問



平田 精一



黒江 哲文



内丸 伸一

### 【質問項目】

(内丸伸一議員)

① 市民サービス

② 防災対策

③ 環境関連施設

(平田精一議員)

④ 防災 ⑤ 今後の不用地問題

⑥ 観光問題

⑦ 教育問題(英語教育)

(黒江哲文議員)

⑧ 予算の現状と事業配分

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご覧ください。

## 必要なところに 必要なサービスを

内丸議員 豊前市で市民

に対して行っている、独自のサービスやお勧めのサービスの中から、幾つか絞って質問する。高齢者の運転免許証自主返納の方に、市バス乗車券、またはタクシー乗車券1万円分を1回限り交付しているようだが、自主返納件数と制度の利用状況はどうなっているか。

市民福祉部長 平成29年の4月から開始した制度だが、当年度は、90名申請があり、市バスの乗車券を希望した方が8名、タクシー乗車券を希望した方が82名となっている。

内丸議員 免許返納件数と高齢者の交通事故件数は、どのようになっているか。

市民福祉部長 高齢者の交通事故件数は、豊前警察署に確認したところ、28年度は65件、29年度は57件で

あった。

内丸議員 免許証返納を優遇することによって、高齢者が加害者となる交通事故を未然に防ぐことができたのかもしれない。この制度をもっとPRして、事故をどんどん減らしていったらいい。

続いて、市バスについて、4月からルート変更やバス停の増設を行ったが、効果と利用者の反応はいかがか。

市民福祉部長 これといった声は特に入っていないが、1件、文書で乗継が悪くなったというのがあった。経営状況はもちろん、頭の中に入れながら、より多くのニーズに応えられるよう工夫をしていきたいと思っている。

内丸議員 市民の足として、デマンドタクシーの実証実験を行っているが、利用状況はどうか。

市民福祉部長 8月末現在、事前登録者は288人、延べの利用回数は588回で、ひと月当たりになると118回となる。

内丸議員 最寄りの市バスのバス停から半径500m以内は利用できないとのことだが、以内でも、住んでいる場所やバス停までの距離を考慮して利用可能にしてもいいのではないか。

市民福祉部長 そうした切実な声にも謙虚に耳を傾けていかなければと、肝に命じている。今後は、斬新な発想も取り入れながら検討していきたい。

内丸議員 高齢化率全国平均21%をはるかに超える35%の、超高齢社会の豊前市では、ますます増加する高齢者に対するサービスを充実させ、高齢者に優しく、住みやすい豊前市にしていくことが重要だ。今後とも知恵を出し合い、必要なところに必要なサービスをいけるよう、常に改善していただきたい。

## 万全な備えを

砂の撤去等行うなど積極的な活動をしていただいている。

**平田議員** ぜび、たくさん防災士を育てることによって、安心なまちとなるよう、よろしくお願ひしたい。

次に、耐震関係についてお伺いする。大きな問題としてあげられるのが、庁舎の耐震。大変な金額がかかるので、今後、何年計画でどういう対応をしていくのか。

**平田議員** 豊前市において、消防団とは別に、防災士の育成に努めていると思うが、防災士というのは、どのような活動を行い、訓練をしているのか伺いたい。

**総務部長** 豊前市では、防災士の活動、充実、防災意識の向上を目的として、豊前市防災士会を組織し、現在、会員が47名いる。活動としては、防災研修や各防災訓練の参加と併せて、個々の防災意識の向上を図るため、講師を招いて、スキルアップ研修を年に数回やっている。また、災害ボランティアとして、土

い、施工率が低いということだが、今後、考えていくのか。

**教育部長** 文科省の通知の中で、校舎の耐震化、体育館等の吊り天井の対策、それ以外の非構造部材の耐震化の点検と対応の3点が指摘されている。非構造部材というのは、教室の天井、窓、外壁等で、体育館等では照明器具、体育施設の付帯設備等が含まれる。今後、具体的な取り組みについて検討していきたいと考えている。

**平田議員** いずれも多額の予算が伴うものなので、しっかりと計画を立ててやっていただきたい。



**平田議員** また、学校の耐震の中で、教室の天井がまだ耐震化されていない。

## 10年後20年後を見据えた計画を

**黒江議員** 豊前市の公共施設は、30年以上の施設が多いが、優先順位では、市民会館、学校、庁舎とあげている。その対策のために、平成27年度、公共施設等総合管理計画を策定しているが、この計画はどのような現状か。

**財務課長** 公共施設等の全体を把握し、長期的視点に立って、総合的かつ計画的な管理を行うため、計画を策定している。今後は、この計画に基づいて、個別施設計画を立てる必要がある。

**黒江議員** 計画では、統合・廃止の推進の方針をあげているが、その中で、市民会館を含めた社会教育施設、類似施設の複合・集約化はどのように動いているのか。

**教育部長** 総合管理計画の中に示されている社会教育施設については、優先順

位の中に総合文化施設がある。具体的に計画が走り出す中で、20%以上の減築、面積を減らし、統合していくことが前提としてある。

**黒江議員** まだ個別計画に至っていないということでは、その方針がまだ決まっていないということだが、それなのになぜ市民会館の建替えについての市民協議が行われているのか。

**教育部長** 昭和38年に建てられた、非常に老朽化した施設であり、今後どうするかという議論をまずさせていただいた。施設として必要だという結論のため、今後は具体的なタイムスケジュールを考えていく。

**黒江議員** その順番がどうなのか。やはり、計画に基づいてする必要性があると思う。白紙の状態ですべて理想をいろいろ言ったとしても、予算確保できる

のか。行政がしっかりと計画を立て方向性を決めるべきだと思う。補助金を交渉するためにも、10年後、20年後を踏まえた様々な具体的な計画を準備しておくことが必要と考えるが、市長の考え方は？

**市長** 厳しい財政の中で、どのように豊前市らしさを、そして次の世代につなげる施策をとというのが今の課題である。方向性としては、市の負担を大きくせず、次の時代に相応しい公共施設を整備できるのか、知恵を絞っている。

**黒江議員** 私が言っているのは順番の問題。計画を出して、優先順位を出して、そして市民に伝えていく。その手順を間違えれば市民に誤解される。この辺を守る事が重要ではないか。財源の状況もわかるし、市民に財政が厳しい現状は伝えるべきだが、その前に、行政が財源も含めた長期的計画を立て、方針決定し、市民会議が必要。今後、さらに財政の健全化に向け努力していただきたい。

# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『平成豊友会』の一般質問



磯永 優二



福井 昌文



秋成 英人



鎌田 晃二

### 【質問項目】

(秋成英人議員)

- ① 猛暑日の対策
- ② 森林環境税
- ③ 小中学校における読書時間
- ④ 災害対策

(福井昌文議員)

- ⑤ し尿処理施設
- ⑥ 中小企業支援
- ⑦ 安全・安心なまちづくり

(鎌田晃二議員)

- ⑧ 学校施設・通学路における  
ブロック塀等の安全性確保
- ⑨ 公立中学校制服等の費用
- ⑩ 高齢化施策(健康・就労・生涯教育等)

※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。  
また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておられますので、お気軽にご閲覧ください。

## 森林環境税の

## 有効活用を

秋成議員 森林環境税は平成36年から課税、森林環境贈与税は現場の課題に早期に対応する観点から、課税に先行して平成31年度から開始されると聞いている。そこで、森林環境贈与税の使途についてどのように把握しているのか、伺いたい。

試算しているのか伺いたい。  
産業建設部長 来年度は、福岡県の試算では県全体で4億5300万円、豊前市へは約509万円となっている。

産業建設部長 森林を抱える市町村は、様々な課題により手入れが出来ていない森林における間伐・道路網等の森林整備や意向調査、境界確定、更に担い手の育成や確保等の取り組みを推進する。また、森林が少ない都市部の市町村では、森林整備を支えるとともに、森林・林業への理解促進につながる木材利用や普及啓発等の取り組みを進めるようになっていく。

秋成議員 豊前市近郊には、京築ヒノキなど、自信を持って送り出しても他の地域に遜色ない木材がある。その販路を確立することは、贈与税の有効利用につながるのでは、如何か。

産業建設部長 京築地域の自治体と森林組合、及び福岡県行橋農林事務所と組織される京築地区森林林業推進協議会で協議を行いながら、京築ヒノキをはじめとした京築産材の販売促進に取り組んでいきたい。

秋成議員 贈与額としてのどのくらい交付されるか

秋成議員 京築ヒノキは京築全体で振興を取り組むべきであり、自治体・

森林組合従事者などから意見を聞き、プロジェクトチームは行政を跨いで行うこと、もっと言えば、行えるかがキーになってくると思う。最後は、リーダーの決意だと思う。見解をお伺いする。

市長 国の制度をにらみながらハード・ソフトの整備をしていく必要がある。特に森林を活用する、間伐材をどうするのか、研究し、取り組んでいかねばと思っている。早急に体制づくりを進めていこうとしているところである。

秋成議員 難しい部分もあるうかと思うが、是非、早急に取り組む環境づくりに尽力して頂きたい。





## 臨海工業線の 新設で、安心・ 安全なまちに

で23時過ぎに救助を終え、雨が小康状態になり、翌7日の1時30分頃に通行が可能になった。

**福井議員** 通行止め等の連絡が悪く、能徳工業団地の方々に大変な迷惑を掛けたのでは。

**建設課長** 申し訳なく思っている。今後は、反省材料として緊急時の手法について徹底したい。

**福井議員** 7月5日、6日は西日本一帯を記録的な豪雨が襲い、本市も過去にない雨量が計測された。その時に、能徳工業団地につながる道路が冠水し、通行止めになったが、状況と対応についてお尋ねする。

**産業建設部長** 6日の17時過ぎに水没の危険性が高まっているので、現地に職員と業者を派遣した。17時30分には、冠水がみられ、アンダーパスの通行止めを行った。その後、企業に通行止めを行った旨を連絡し、消防団に協力要請を行った。また、工業団地に取り残された人達のため、京築消防本部へ救助ボートの要請を行った。皆さんのお蔭

方々の安全・避難のためにも真剣な取り組みをお願いする。

また、吉富町は、臨海工業線道路新設に前向きに検討している。近隣市町との期成会の現状は、豪雨対策に限らず、高潮対策や進出企業に対する責任も含めた防災の観点から、今後の考えを伺いたい。

**総務部長** 京築広域圏理事会では必要性が再認識され、広域圏事務局により、期成会再開に向け準備が進められている。

**福井議員** 吉富町から臨海工業線で繋がることで、宇島地区の狭く危険な道も解消され、地域住民の交通事故等の不安がなくなる。また、安定的な運輸手段が確保され、積極的な企業活動が促進されると思うが、如何か。今後の取り組みを伺いたい。

**総務部長** 道路の整備により地域の活性化につながると思うので、早急に整備促進を図りたい。

**福井議員** 是非、市民が安心・安全に暮らせる街づくりをお願いしたい。

## 学校施設・通学路の 安全確保のため 万全な対策を早急に

**鎌田議員** 大阪北部を震源とする地震により、ブロック塀が倒壊し、女子児童が亡くなるという悲しい事故があった。本市において、学校施設のブロック塀等の危険箇所はあるか、お尋ねする。

**教育部長** 事故発生を受け、その日の午後、翌日に市内の全小・中学校を巡回した。その後、都市住宅課とブロック塀を点検した結果、45箇所のうち、危険と判断されたものが、7箇所あった。

**鎌田議員** 公共施設等も調査したと聞いているが、結果を伺いたい。

**財務課長** 予算措置の必要があるため、財務課で取りまとめたので、報告する。原課による診断カルテの作成、都市住宅課による再調査の上、総合評点を求めて、安全性を4段階に分類している。

該当するブロック塀が87箇所、危険が13箇所、注意が34箇所、一応安全が22箇所、安全が18箇所である。

**鎌田議員** 危険ブロック塀を改善するのも予算が掛かり、民間の方も大変な事業になると思う。国県の補助もあまり期待できない。そこで、学校防災マニュアルに基づいて、例えば左側を緑色にして通るとか、その部分だけは通学路を変更するとか、したらどうか。

**教育長** 通学路の安全推進会議等で、調査結果を集約し、必要があれば検討する。

**鎌田議員** 民間のブロック塀等の撤去費用を支援している自治体もあるが、本市の財政力で補助は可能なのかお尋ねする。

**産業建設部長** 平成30年10月から平成33年3月ま

で、補助期間で、補助率・額は、県が3万円を限度に、市町村が同額を限度に事業費の2分の1までを補助するようになってくる。国も社会資本整備総合交付金事業で補助を予定している。今後、国・県の動向を見極め、必要な措置をとり、予算確保に努めたい。



# 一般質問

そこが聞きたい・なんとかしたい

## 『無党派議員』の一般質問

### 【質問項目】

(古川哲也議員)

- ① 湾岸道路早期着工に向けて豊前市としての考え方
- ② 豊前市教育行政
- ③ 豊前市中心街の課題

### 【質問項目】

(尾澤満治議員)

- ① 人口増対策

### 【質問項目】

(郡司掛八千代議員)

- ① 発達障がい児を取り巻く環境整備
- ② 子どもの貧困の連鎖と関連

### 【質問項目】

(為藤直美議員)

- ① 少子高齢化対策
- ② 地域づくり
- ③ 健康づくり

## 豊前市としての考え方



古川 哲也

古川議員 6月議会でも議論したが、湾岸道路の早期着工に向けて、期成会が立ち上がったとのことだが、現状の取り組みについて伺いたい。

総務部長 湾岸道路建設は、京築地域全体の経済活動の活性化にも大きく寄与することが期待され、市では、明神地区の高潮、浸水対策や能徳工業団地へのアクセス改善のため、あるいは吉富町・上毛町においても、同様に、それぞれの課題解消が見込まれる。広域圏理事会で湾岸道路建設の必要性が再認識され、期成会再開の同意が図られ、現在、広域圏事務局により、期成会再開に向けた準備が進められている。

古川議員 広域圏の中で、市長にリーダーシップを取ってもらいたい。市長の考えを伺いたい。

市長 湾岸道路については、地域・将来にとっても重要な路線である。災害の面では、高潮被害、明神地区のみならず、日豊線の海側、海岸沿いはもちろん、豊前発電所、能徳工業団地も、水没をする可能性がある。湾岸線道路建設については、やはり国や県の力が必要であるので、そういう意味では、多くの理解が必要だと考えている。

古川議員 豊前市始まって以来の雨が降り、アンダーパスが水没してしまい、人の往来・車の往来ができなくなった。能徳工業団地については迂回路をもう一つ、造るような考えはあるのか。

産業建設部長 現在、能徳団地から、2本の都市計画道路が計画をされており、

一本目は、都市計画道路能徳今吉線で、2本目は能徳工業団地から県道宇島港線へ続く臨海工業線である。県のほうに事業化の要望を行っているが、なかなか実現に至っていない状況である。

古川議員 そこで何か知恵を使って能徳工業団地が生きるような、もう一つの迂回路が出来るようなかたちにすべきだと思うが、市長の考えを伺いたい。

市長 豊前市も今回、7月の二日半で390ミリという想定していない雨量だった。やはり抜本的な解決策を求めて、現状を把握し、そして将来像を描いている。これは喫緊の課題と認識している。

古川議員 湾岸道路も絶対必要なので、早期に着工をお願いしたい。



※ ここに掲載している質問のやり取りは、ごく一部です。

詳細については、市のホームページに全文を掲載していますので、そちらをご覧ください。また、議会事務局及び総務課に会議録を置いておりますので、お気軽にご閲覧ください。

## 関係機関と連携し 環境整備を



郡司掛 八千代

郡司掛議員 豊前市では、通級教室に何名の児童がいるか。また、特別支援学級と通級の相違点は。

教育部長 特別支援学級の在籍数は、小学校で39名、中学校で12名。通級については、約20数名と把握している。特別支援学級は、主に対象となる障がいの種類が、知的障害、肢体不自由、病弱および身体虚弱、弱視、難聴、言語障害、自閉症、情緒障害等である。通級は、言語障害、自閉症スペクトラム、情緒障害、弱視、難聴、学習障害、注意欠陥多動性障害と区別されている。

郡司掛議員 発達の段階で、子どもは、いろいろな顔をもつので、注意深い観

察力を持ち、指導をお願いしたい。また、医療・福祉・関係機関との連携、児童の実態は把握しているか。

教育部長 早期からの教育相談支援体制構築事業の中で、保育所・幼稚園へ年2回訪問、教育相談会等の実施をしている。保健師や作業療法士の方に参加してもらい、専門性に基づいた視点から、子どもの観察や今後の取り組みについて指導・助言をもらっている。

郡司掛議員 いろいろな機関と提携していると思う。障がい者である児童・生徒並びに保護者に対して、十分な情報の提供を行うとともに、可能な限りその意向を尊重することが出発点になる。現在、1歳半、3歳児健診のデータの小学校・中学校への引継ぎ、指導はどのようにしているか。

教育部長 幼稚園や保育所の巡回訪問、教育相談会で得た情報は、保護者の了

解を得て、小学校や中学校に情報提供を行っている。情報提供を受けた学校では、それぞれの子どもに応じた適切な支援や指導ができるよう、専任のコーディネーター等を通じて役立てている。

郡司掛議員 特別支援教育をつくるのは、子ども・保護者・教育現場、専門機関との連携と支え合いが大事だと思うが、豊前市での課題について伺いたい。

教育部長 様々な複数の関係機関との連携、就学前、就学後の早期支援についての取り組みを継続し、必要な情報を収集しながら適切に対応したい。

郡司掛議員 保護者の方は不安の中にいるので、情報を提供し、安心できるようお願いしたい。



## 企業合同説明会の実績



尾澤 満治

尾澤議員 昨年度に初めて行った、企業合同就職説明会のアンケート結果について、お伺いしたい。

産業建設部長 参加企業のアンケート結果によると3分の2以上の方は、良かったという意見だった。尾澤議員 今年度は、どれくらいの企業が参加するのか伺いたい。

産業建設部長 参加の要請については、毎年5月に合同説明会への参加の意向等をお願いしている。今年度の参加予定社数は、18社うち10社が新規の会社で、製造業の他にサービス業も数社、参加の予定である。

尾澤議員 移住相談ブースが設置されているが、豊

前市のPRが充分にできたのか。今年度のやり方についてお伺いしたい。

産業建設部長 昨年の実績では参加57名中、21名が市外から参加している。移住希望の実績として、2組の方が相談に訪れた。今年度も前年度に習って、移住促進・定住促進ブース等も関係課と連携して設けていきたい。

尾澤議員 21名の方が市外から来られたということであれば、もう少し定住できるPRをしっかりと行い、午後から山内の古民家の再生の家を見せるなど、豊前市の素晴らしさを体験していただくことが必要だと思っているが。

産業建設部長 山内の古民家についても、チラシ等紹介を入れて、PRをやりたいと思っている。

尾澤議員 全国移住ナビを見ると、豊前市の内容は登録をしているが、合同企

業説明会のアピールはしていない。私が調べた中で、糸島市がしっかりとアピールして、学園都市として人口が伸びている素晴らしい場所だと思っている。少しでも移住する人たちへPRをしていただきたい。

総合政策課長 豊前市の魅力ある施策については、情報発信をしっかりとやっていくべきと思っているので、早速取り掛かれればと考えている。

尾澤議員 今回の部長制度というのは、縦割行政をなくすためにも、横の担当課長、課がしているのではなく、全体的に豊前市がやっているのだとしっかりと把握して、あと一カ月あるから、十分に周知して、いろいろな所から来てもらえるように一生懸命やっていただきたい。

産業建設部長 庁内の関係課、または関係機関としっかりと連携をして、昨年以上の成果が上がるような合同説明会になるように取り組みたい。

## シニアに優しく若者が 住みやすい環境づくりを



為藤 直美

**為藤議員** 少子高齢化が加速する中、自然増減・社会増減など最新の出生・死亡、転入・転出について伺いたい。

**市民課長** 平成29年度内において転入645人、転出811人で社会減は、166人、出生152人、死亡359人で207人の自然減となり、合計で373人の人口の減少となっている。

**為藤議員** どの市町村でも抱える大きな問題が、人口減少・少子高齢化である。以前、市長が言った自然減を食い止めるため、行政区1区あたり2名増の各区への呼びかけ等について伺いたい。

**総務部長** 行政と市民が一体となり人口増対策に取り組む気運を高め、親族のUターンにつながるだけでなく地域課題として取り組んでもらうため、市政懇談会でこの話題を取り上げた。

**為藤議員** 人口減少に歯止めをかけるのは容易ではないが、目標を立て、具体的に取組んでいることを報告するのも必要だ。また、新婚、子育て世代への支援は欠かせない施策。豊前市では、子育て、定住促進、教育、雇用など様々な課題に取り組む、その一つに新婚家庭への助成金があるが、賃貸物件の利用だけか？

**総合政策課長** 民間の賃貸の物件のみである。  
**為藤議員** 大切なことは定住につなげること。3年を過ぎても豊前に住ん

でもらえるよう方向性を考え、家を建てた方、移住してきた方に特典を付けるなど、定年後も安心して住める、自然豊かな豊前市のPRをお願いしたい。また、シニアに優しく、若者が住みやすい環境を作ること大切。子育て世代への支援として、すこやか赤ちゃん出産祝い金、第3子以降保育料無料化もある。放課後児童クラブでは、平成27年から6年生まで受け入れることが可能となり、兄弟がいる場合、保護者の金銭的負担も大きくなるが、どのようになっているか？

**福祉課長** 平成29年10月より、市民税非課税世帯、生活保護世帯は月額4千円の放課後児童クラブの利用料が半額となっている。

**為藤議員** ぜひ、非課税だけでなく、二人目、三人目と子どもを多く産んだ方に、助成を膨らますような方向性もお願いしたい。

## 無党派議員の合同視察研修



平成30年5月22日～24日の日程で、無党派議員合同視察研修を行いました。薩摩川内市・甕島「次世代エネルギーと古民家改修」についての具体化例及び説明を受けて有意義な意見交換を行うことができました。

次の日には、熊本県人吉市役所で「航空レーザー計測による森林資源情報等を踏まえたスマート林業の取り組み等」の木材の利活用、資源を活かす林業の現状について研修を行いました。次世代林業に関する実践的な知識を学ぶことができました。

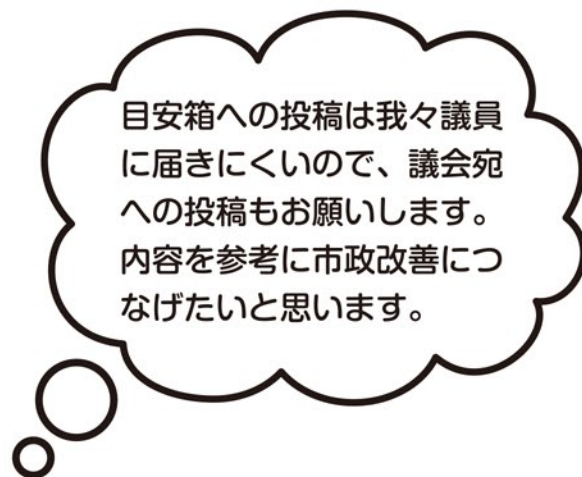
開かれた議会を目指して

# 第7回 議会報告会 を開催します

市議会は、市民と議会とのつながりを深め、より一層の信頼関係を築くとともに、開かれた議会実現のため「議会報告会」を開催いたします。

議会報告会では、議会の中で審議・議論したことについての報告や市政全般あるいはそれぞれの地域が抱える課題などについて意見交換を行います。市民の皆さんとともに市政について考え、今後の議会活動に生かしていきたいと思っていますので、皆様のご参加をお待ちしております。

日程・時間・場所は下表のとおりです。



日程	時間	地区	会場
11月12日(月)	午後7時～	角田・山田	山田公民館
11月13日(火)	午後7時～	八屋・大村・宇島	中央公民館
11月14日(水)	午後7時～	三毛門・黒土・千束	総合福祉センター
11月16日(金)	午後7時～	岩屋・合河・横武	横武公民館

## 平成豊友会・平成豊明会の会派視察研修



平成30年6月21日～23日の日程で、「英語教育・教育行政」について、東京都千代田区の参議院会館会議室で視察研修を行いました。外国語教育改革の動向、豊前市および近郊市町の外国語教育の実情、豊前市における外国語教育の今後の対応について、文部科学省の総務課法令審議室長や国際教育課の外国語教育推進室長と意見交換を行いました。

また、「移住促進・特産品」について、北九州市東京事務所で研修し、その後「食市場への特産品の出展」について、福岡県北部の17市町を繋ぐ圏域の特産品や各市町の魅力を発信している東京・浅草の「まるごとにつぼん」で研修を行いました。

## 東松島市議会に表敬訪問と夏祭り参加



8月24日～26日の日程で、復興支援・政策推進特別委員会で、「豊前海一粒かき」の稚貝の生産地であり、東日本大震災発生後から支援を続けている宮城県東松島市役所を訪問しました。

その翌日、昨年に引き続き夏祭りに参加しました。夏祭りの会場ブースでは豊前の特産品を販売し、祭りを大いに盛り上げました。今回も売上金については復興支援として東松島市へ全額寄附し、残った商品についても現地のアンテナショップ「まちんど」で販売をしていただくようになりました。

## 産業建設委員会による視察研修



平成30年9月19日、産業建設委員会は9月議会の委員会終了後、下大西にある「獣肉加工施設」について、視察を行いました。

現地で、産業建設部の中川部長から、「豊前市の有害鳥獣による農林産物被害軽減のため、施設を有効活用し、獣肉を豊前市の特産品として定着を目指すと共に、農家等の生産意欲の高揚と活性化を目指す」などの施設の運営方針の説明を受けました。

## 編集後記

「想定外」や「予想以上」の言葉を最近よく耳にします。異常気象の為であります。今年も全国で、高温や長雨、土砂崩れに台風と、災害が多く発生しています。私達が住む豊前市でも例外ではなく、初めての事がいくつかありました。

7月の長雨では、降りはじめから、終わりまで390mmと過去最高値になり、また、台風が周防灘から豊前市に上陸するという過去例がない事が起きました。

今までは、豊前市では、災害が少なく気候が温暖で住みやすい街であったが、考えなおさなくてはならない時期になったのでは……

住民の生命と財産を守るのが行政の最大のテーマだが、どこまで想定したらいいのやら……

古川 哲也

次回の定例会市議会は  
**12月**です

## 議会を傍聴しましょう

市議会の様子を知る最もよい方法です。多数の方の傍聴をお待ちしています。

- 編集 編集委員会  
委員長：黒江哲文  
副委員長：郡司掛八千代  
委員：内丸伸一 秋成英人  
古川哲也

- 印刷 築上印刷有限会社